

令和2年4月15日

校長室だより

第1号

座間市立相模中学校
校長 金子 憲勝



はじめに～どうぞよろしくお祈いします！！～

私は、この4月から相模中学校の校長として赴任してきました金子憲勝(かねこのりかつ)です。「相模中学校だより」は学校全体に関するのですが、「校長室だより」の内容は私自身が考えていることや感じていることなどを不定期に、保護者の方々に発信するものです。今回は第1号なので、まずは私自身のことについて書きます。

私は、20年前までの8年間相模中学校で働いていたので、私のことをご存じの方も多数おられることと思います。相模中学校に戻ってくることができ、大変嬉しいです。私の経歴は、以下のとおりです。

座間中学校(初任校) ⇒ 相模中学校 ⇒ マレーシアのクアラルンプール日本人学校
⇒ 栗原中学校 ⇒ 座間市教育委員会・教育指導課
⇒ 神奈川県総合教育センター・カリキュラム支援課・研究開発班
⇒ 座間市教育委員会・学校教育課 ⇒ 座間市教育研究所(所長) ⇒ 南中学校(教頭)
⇒ 相武台東小学校(校長) ⇒ 相模中学校(校長) 着任

相模中学校に最初に赴任した時は、私は20代後半から30代半ばで、8年間運動部(テニス部と陸上部)の顧問をしていたので生徒たちと一緒によく身体を動かしていました。今でも身体を動かすことは好きなので、コロナウイルス感染症が終息し、学校が正常に始まった時には都合がつけば校庭を生徒たちと一緒に走りたいと考えています。保護者の皆様・地域の皆様、どうぞよろしくお祈いいたします。

始業式や入学式で話したこと

6日は、着任式・始業式をコロナウイルス感染症対策として校内放送で行いました。そのため、生徒一人一人の顔を見ながら話が出来なかったのは誠に残念でしたが、次のような話をしました。

コロナウイルス感染症対策として、自由に外出することができない日々が続いています。この「できないこと」が多い時だからこそ、「できること」に目を向けてください。人は、「できないこと」ばかり考えていると心配が増え、気持ちが落ち込んでいきます。そこで、このような時には「できること」を考えて行動して欲しいのです。例えば、ご家族の方々が仕事に行っている間に家の掃除をしたり、洗濯物を畳んだりすると、ご家族の方々は大変助かります。次に、時間がたくさんあるので今まで勉強してきた内容の復習をしたり、本を読んだりして時間を有効に使ってください。他には、スポーツ選手のように室内で体幹を鍛えることも良いと思います。

私は若い頃に、「盲人マラソン大会」の伴奏をしたことがあります。私は、一緒に走るランナーから、大きな力をもらいました。私が伴奏をしている人は周囲を見ることができなくても、私と一緒に走ることを選び、大会に参加していました。このように、「できること」に目を向けて力強く生きて欲しいと思っています。

また、入学式では、上記の話の他に「目標」を持って生活することの大切さについても話をしました。生徒一人ひとりには、このような状況だからこそ「目標」を持って一日一日を少しでも充実させる努力をして欲しいと伝えました。